

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 16 日

福岡県知事 殿

提出者

神奈川県横浜市
住 所 西区みなとみらい4-6-2 みなとみ
らいグランドセントラルタワー
千代田化工建設株式会社
氏 名 代表取締役社長 太田 光治
電話番号 045-225-7253 (担当)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	千代田化工建設株式会社 三川出張所／ひびき出張所
事業場の所在地	福岡県大牟田市新港町1-46 (株)シグマパワー有明三川発電所隣接地 ／福岡県北九州市若松区向洋町20-1
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D: 建設業
② 事業の規模	前年度の元請完成工事高 9.5 億円
③ 従業員数	1 名 (令和7年4月時点)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-1のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図) 別紙-2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類 排出量	がれき類 3,937 t	廃プラスチック類 5 t	
	産業廃棄物の種類 排出量	金属くず 0.2 t	汚泥 66 t	
	産業廃棄物の種類 排出量	建設混合廃棄物 4 t	t	
	産業廃棄物の種類 排出量	t	t	
	産業廃棄物の種類 排出量	t	t	
	産業廃棄物の種類 排出量	t	t	
	（これまでに実施した取組） 循環型社会の実現から、リデュース、リユース、リサイクルの3Rに向けて、分別の徹底により産廃減量に努めている。			
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類 排出量	がれき類 50 t	廃プラスチック類 3 t
産業廃棄物の種類 排出量		金属くず 1 t	汚泥 10 t	
産業廃棄物の種類 排出量		建設混合廃棄物 3 t	t	
産業廃棄物の種類 排出量		t	t	
産業廃棄物の種類 排出量		t	t	
産業廃棄物の種類 排出量		t	t	
（今後実施する予定の取組） 前年度と同じ取組み				
産業廃棄物の分別に関する事項				
①現状		（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） なるべく混合廃棄物となるのを少なくするように、それぞれの廃棄物に分別し、保管している。		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 前年度と同じ取組み			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	金属くず	汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
	②計画	【目標】		
産業廃棄物の種類		がれき類	廃プラスチック類	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類		金属くず	汚泥	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類		建設混合廃棄物		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類				
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類				
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類				
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	
(今後実施する予定の取組)				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	金属くず	汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
	②計画	【目標】		
産業廃棄物の種類		がれき類	廃プラスチック類	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類		金属くず	汚泥	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類		建設混合廃棄物		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t	
(今後実施する予定の取組)				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

【前年度 (年度) 実績】				
①現状	産業廃棄物の種類		がれき類	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量		3,937 t	5 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	0.3 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		3,937 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		金属くず	汚泥
全 処 理 委 託 量		0.2 t	66 t	
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	t	
再生利用業者への 処 理 委 託 量		0.2 t	66 t	
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t	
(これまで実施した取組) 法令違反の無いこと、インターネットでの情報公開、ISO14001等認証取得を満たす業者、かつ電子マニフェストを運用している業者又は、優良認定処理業者を選定するように努めている。また、施設(中間処理施設または、最終処分場)の現地確認をするように努めている。				
【目標】				
②計画	産業廃棄物の種類		がれき類	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量		50 t	3 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	1 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		50 t	1 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		金属くず	汚泥
全 処 理 委 託 量		1 t	10 t	
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	t	
再生利用業者への 処 理 委 託 量		1 t	10 t	
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t	
(今後実施する予定の取組) 前年度と同じ取組み				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

		【前年度 (年度) 実績】			
		産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物		
①現状	全 処 理 委 託 量		4	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		3	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		4	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量			t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量			t	t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類				
	全 処 理 委 託 量			t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量			t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量			t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量			t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量			t	t
	(これまでに実施した取組) 1枚目に同じ				
	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		建設混合廃棄物	
全 処 理 委 託 量			3	t	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量			3	t	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量			3	t	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量				t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量				t	t
産 業 廃 棄 物 の 種 類					
全 処 理 委 託 量				t	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量				t	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量				t	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量				t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量				t	t
(今後実施する予定の取組) 1枚目に同じ					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

【前年度 (年度) 実績】			
産業廃棄物の種類			
①現状	全 処 理 委 託 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 委 託 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	t	t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 委 託 量	t	t
再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t	
再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t	
再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t	
認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t	
認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t	
認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	t	t	
認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	t	t	
(これまでに実施した取組)			
【目標】			
産業廃棄物の種類			
②計画	全 処 理 委 託 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 委 託 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	t	t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 委 託 量	t	t
再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t	
再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t	
再 生 利 用 業 者 へ の 量	t	t	
認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t	
認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	t	t	
認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	t	t	
認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			